

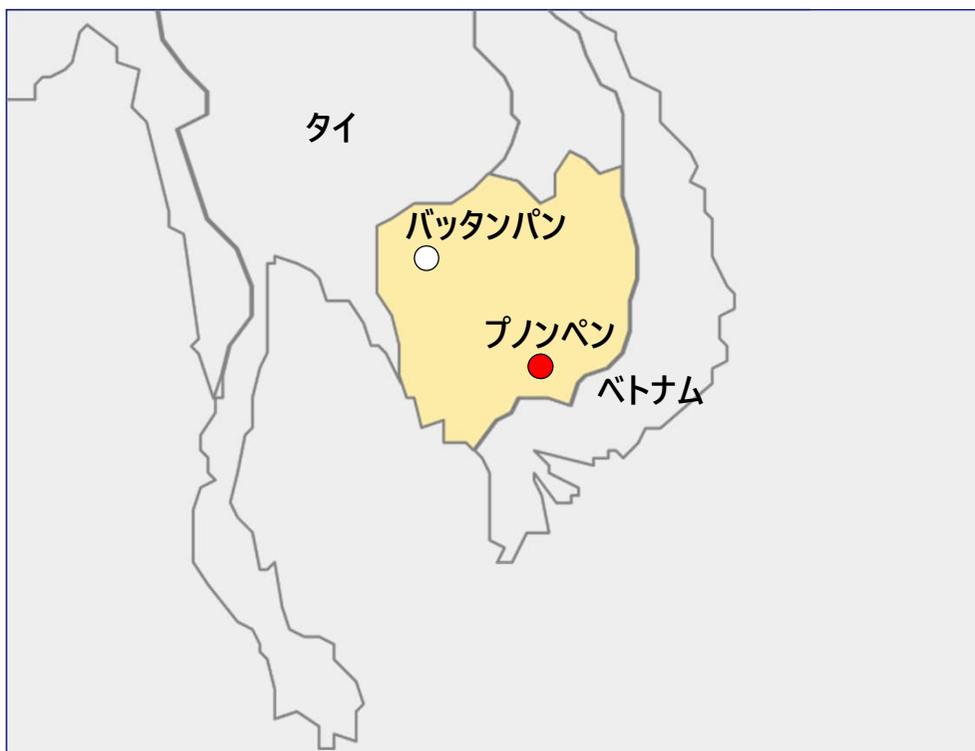
スポーツ産業国際展開カントリーレポート

スポーツ産業の市場環境等に関する基本情報



カンボジア

Kingdom of Cambodia



都市名	人口（万人）
プノンペン	157
バッタンパン	112

（出所）総務省「世界の統計2024」

目次

【スポーツ関連】

1.市場情報

- スポーツ産業市場規模推移 2
- 主要コンテンツ市場情報 3
- スポーツ産業従業者数割合、事業者数及び1事業者当たり売上 5

2.スポーツ習慣

- 現地で盛んな競技 6
- 一人当たりスポーツ支出 7
- 主なスポーツリーグ・スタジアム 8

3.業界情報

- 日本のクラブチームとの連携クラブ概要 9
- 現地主要企業 10
- 教育分野におけるスポーツの活用動向 11
- スポーツ産業にかかる日本企業の進出状況 12

4.展示会、国際競技大会等開催情報

- 商談会・展示会開催情報 13
- 国際競技大会開催情報 14

5.政策動向

- スポーツ基本計画概要 15
- SDGsへのコミットメント 16
- 女性の活躍推進に関する取組 17
- 「健康・福祉」に関する取組 18

【一般概況】

6.経済

- 人口動態、および人口成長率・年齢別人口構成 19
- GDP、GDP成長率、一人当たりGDP 20
- 世帯所得分布 21
- 賃金 22

7.健康・医療

- 医療費支出 23
- 疾病構造・死亡要因 24

8.規制

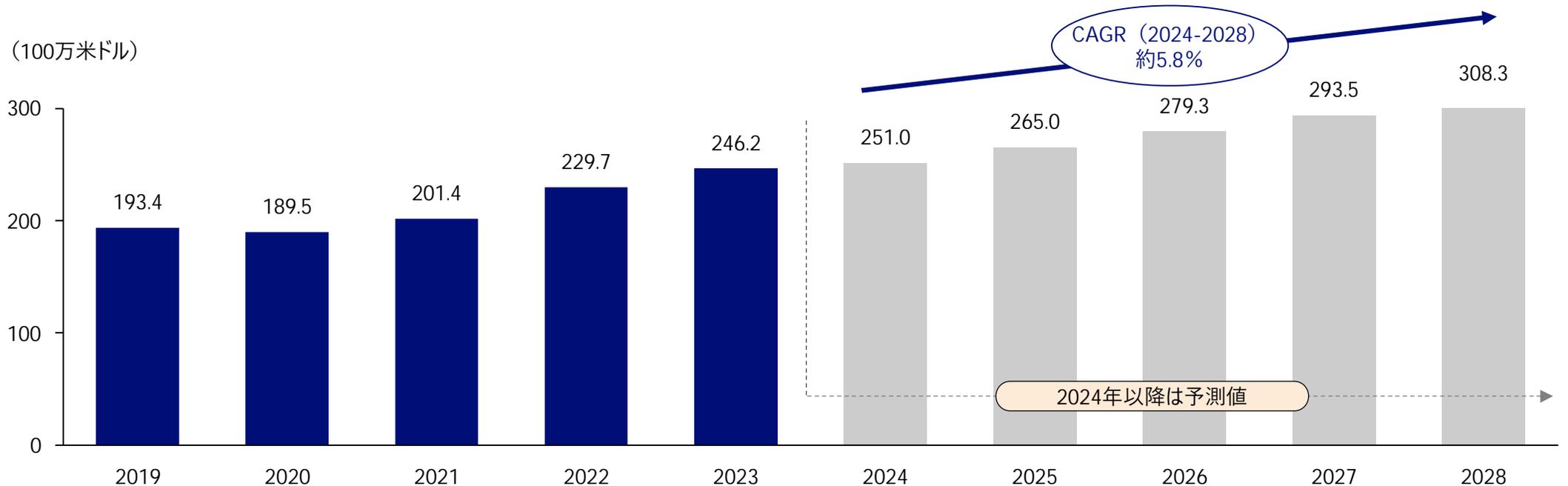
- 外資に関する規制 25

スポーツ産業市場規模推移

- 本ページにおけるスポーツ産業市場は、スポーツ用品、観戦型スポーツ、スポーツ飲料、スポーツアパレル（靴、スポーツウェア）の各売上の合計にて構成されている。
- 2024年のカンボジアにおけるスポーツ産業市場規模は2.5億米ドル（約395億円）、CAGR（2024-2028）は約5.8%である。
- 市場規模は他ASEAN諸国（タイ：約21億米ドル、ベトナム：約8億米ドル、いずれも2020年の数値）と比較して小さい。
- 国内経済成長によって、国民の可処分所得増加や健康を意識したライフスタイルの変化が生じており、スポーツへの需要が高まり継続的な市場の成長を見込んでいる。

※本カントリーレポートでは、1米ドルを158円で計算している。

スポーツ産業市場規模推移



(出所) StatistaよりEYSC作成

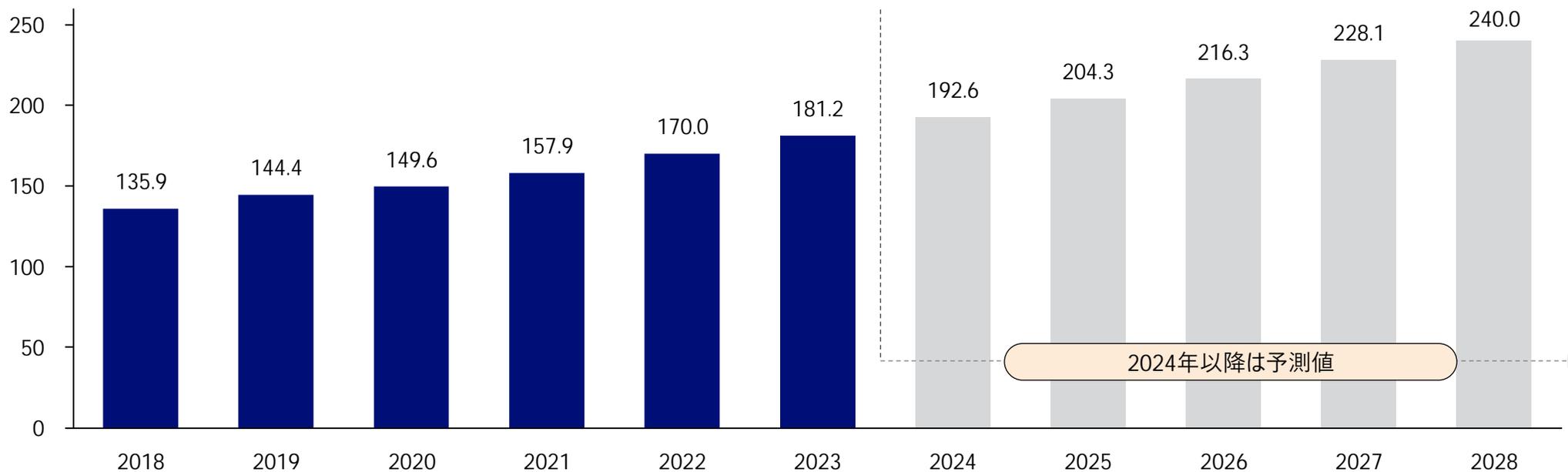
主要コンテンツ市場情報 (1/2)

🏸 スポーツ用品市場

- 2023年のカンボジアのスポーツ用品市場は約1.8億米ドル（約284億円）である。
- 2018年から2028年までの10年間で、市場規模が約1.8倍になると予測されている。
- 健康とウェルネスへの関心の向上に伴い、スポーツ用品市場は拡大を続けている。特にフィットネスにおけるトレーニング機器への需要が高まっている。

スポーツ用品市場規模推移

(100万米ドル)



(出所) StatistaよりEYSC作成

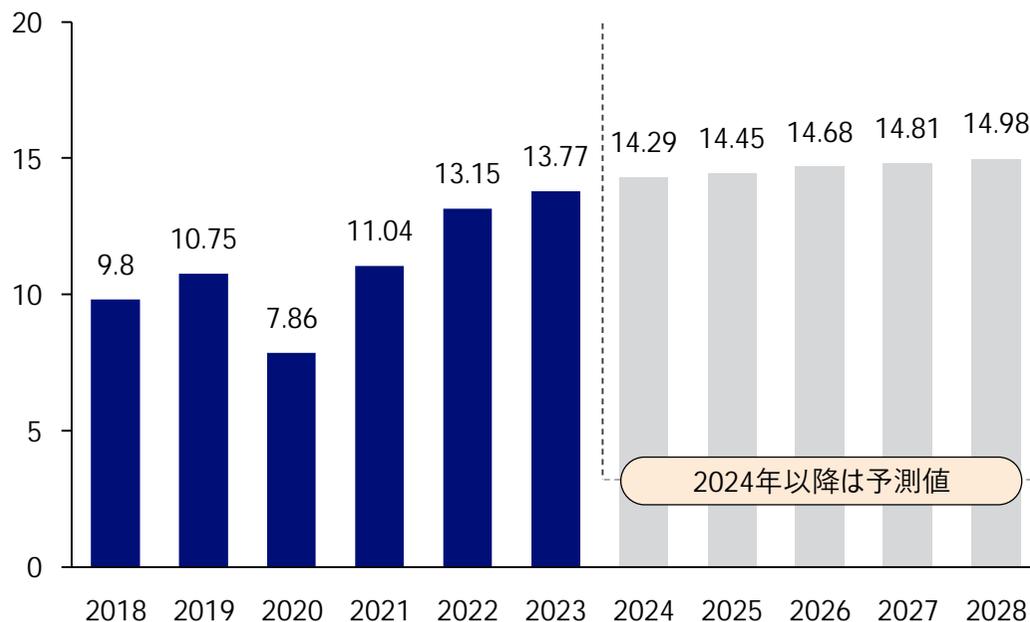
主要コンテンツ市場情報 (2/2)

観戦型スポーツ市場

- 2023年のカンボジアの観戦型スポーツ市場は約1,400万米ドル (約22億円) である。
- コロナ禍により2020年には約800万米ドル (約12.6億円) にまで落ち込んだものの、2028年には約1,500万米ドル (約23.7億円) にまで到達すると予測されている。
- 観戦型スポーツでは、サッカーが人気である。

観戦型スポーツ市場規模推移

(100万米ドル)



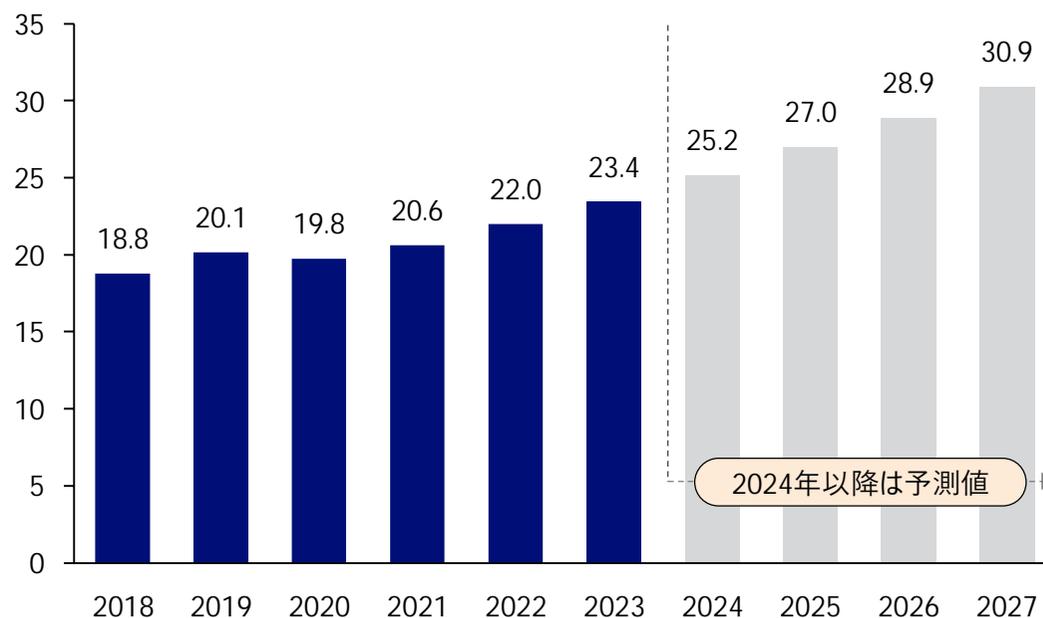
(出所) StatistaよりEYSC作成

エネルギー・スポーツ飲料市場

- 2023年のカンボジアのエネルギー・スポーツ飲料市場は約2,300万米ドル (約36億円) である。
- 2027年には約1.3倍の約3,000万米ドル (約47億円) まで成長すると予測されている。

エネルギー・スポーツ飲料市場規模推移

(100万米ドル)



スポーツ産業従業者数割合、事業者数及び1事業者当たり売上

スポーツ産業従業者数割合、事業者数及び1事業者当たり売上

国	スポーツ産業従業者数割合 (%) ※1	スポーツ産業事業者数※3	1事業者当たりの売上 (米ドル)
カンボジア	0.0003%※2	1,491	—

※1「スポーツ産業従業者数割合」は全人口に対するスポーツ産業従業者数の割合

※2カンボジアのスポーツ産業従事者数は5,834人

※3「スポーツ産業事業者数」は現地でスポーツ関連の事業を行う法人数

他国の参考情報

国	スポーツ産業従業者数割合 (%)	スポーツ産業事業者数	1事業者当たりの売上 (米ドル)
サウジアラビア	0.30%	25,467	122,437
イギリス	0.26%	72,371	231,733
アメリカ	0.22%	43,441	2,823,163
シンガポール	0.16%	996	1,851,950
韓国	0.13%	24,357	272,094
フランス	0.13%	34,663	276,974
フィリピン	0.12%	7,802	196,463
日本	0.10%	20,164	1,254,952
インドネシア	0.09%	86,631	37,777
中国	0.08%	160,508	342,474

※「スポーツ産業従事者数割合、事業者数及び1事業者当たり売上」と「他国の参考情報」において使用する出所は異なるため、比較はできない。

（出所）National Institute of Statistics, Ministry of Planning「Economic Census of Cambodia 2022」（スポーツ産業従業者数割合、事業者数及び1事業者当たり売上）

Sports Global Market Opportunities And Strategies To 2030（他国の参考情報）

現地で盛んな競技

- 2024年の時点で夏季五輪およびパラリンピックでメダルを獲得した実績はない。また、冬季五輪およびパラリンピックにおいては大会出場の実績がない。
- カンボジアで主要な競技はサッカー、バレーボール、バスケットボール、陸上競技の4競技である。
- 卓球、テニス、テコンドー、自転車、レスリング、体操、セパタクロー、ペタンクの全国大会があり、力が注がれている。
- パリオリンピックでは、競泳に2選手、陸上に1選手が出場した。
- パリパラリンピックでは陸上に1選手が出場した。
- 2023年に自国で行われた東南アジア競技大会（SEA Games）におけるメダル獲得順位は、ベトナム、タイ、インドネシアに次ぐ4位であった。

主な国際大会でのメダル獲得数

大会名	メダル総数	金	銀	銅
パリ2024オリンピック	0	0	0	0
パリ2024パラリンピック	0	0	0	0
2023 SEA Games	282	81	74	127
第19回アジア大会	1	0	0	1

一人当たりスポーツ支出

一人当たりレクリエーション・文化への支出額 (年間)

国	一人当たりの支出 (米ドル) ※
カンボジア	11.52

※カンボジア統計局社会経済センサスにおける「レクリエーション・文化への消費額」の値

他国の参考情報 (年間)

国	一人当たり スポーツ支出 (米ドル)
アメリカ	371.6
シンガポール	319.7
イギリス	249.4
オーストラリア	229.7
日本	201.2
フランス	147.7
韓国	128.0
サウジアラビア	89.7
中国	39.1
タイ	30.6
フィリピン	14.1
インドネシア	12.1
ベトナム	8.4
インド	2.1

※「一人当たりレクリエーション・文化への支出額 (年間)」と「他国の参考情報 (年間)」において使用する出所は異なるため、比較はできない。

(出所) National Institute of Statistics, Ministry of Planning「Report of Cambodia Socio-Economic Survey 2021」(一人当たりレクリエーション・文化への支出額 (年間))

Sports Global Market Opportunities And Strategies To 2030 (他国の参考情報 (年間))

主なスポーツリーグ・スタジアム

カンボジアにおける主なスポーツリーグ

リーグ名称	競技	設立年	チーム数	開催時期	観客動員数	主要チーム※1	主要スポンサー※2
Cambodian Premier League	サッカー	2022	11	8月~5月	—	<ul style="list-style-type: none"> Preah Khan Reach Svay Rieng Phnom Penh Crown Visakha Boeung Ket 	<ul style="list-style-type: none"> metfone Krud molten
Techo Volleyball Cambodia League	バレーボール	2024	8	1月~2月	—	<ul style="list-style-type: none"> Bodyguard Headquarter Visakha Phnom Penh Municipal Police Ministry of Interior 	—

※12023-2024シーズン、2024シーズンにおける上位チームを記載 ※2リーグの主要スポンサー企業を記載

主なスタジアム

スタジアム名	都市	収容人数	設立年
Morodok Techo National Stadium	プノンペン	60,000	2021
Phnom Penh National Stadium	プノンペン	50,000	1964

(出所) StadiumDB.com「Stadium database」

日本のクラブチームとの連携クラブ概要

日本のクラブとの協定締結等が確認されるクラブの主要スポンサー、オーナー

リーグ名 (競技)	クラブ名	主要スポンサー企業	オーナー	連携先日本リーグ・クラブ
Cambodian Premier League (サッカー)	アンコールタイガーFC	<ul style="list-style-type: none">• TVS• Panasonic• 遠山園• 大塚製薬 (ポカリスエット)	加藤 明拓	徳島ヴォルティス (Jリーグ)
Cambodian Premier League (サッカー)	ボンケットFC	<ul style="list-style-type: none">• Wing Bank	Puth Thyda	湘南ベルマーレ (Jリーグ)

現地主要企業

現地主要企業

企業名称	カテゴリ	概要
Decathlon	スポーツ用品	トレーニング機器やアウトドア用品の販売
SuperFit Fitness and Health Club	フィットネスクラブ	フィットネスクラブ運営に加え、エアロビクス等のスタジオプログラムを提供
LL fitness	フィットネスクラブ	パーソナルトレーニングジムの運営
Prokout Fitness and Fight Centre	フィットネスクラブ	格闘技を中心としたトレーニングの提供
Yoga Phnom Penh	フィットネスクラブ	ヨガ教室の運営
Gunze Sports	フィットネスクラブ	フィットネスクラブ運営に加え、スタジオプログラムを提供

教育分野におけるスポーツの活用動向

中学校体育学習指導要領

- 2016年に中学校体育の学習指導要領がカンボジアの教育・青年・スポーツ省（以下、教育省）に認定され、それまでの単調な体操に代わって、体づくり運動、リズム運動、器械体操、陸上、水泳、ボールゲーム、伝統スポーツの7領域20種目が授業に取り入れられた。先生たちは教員養成期間に習わなかった種目を教えることに加え、指導書をもとに年間計画、種目ごとの単元計画、指導案を作成する必要があるが出てきたという。

カンボジア王国憲法

- 「カンボジア王国憲法」では、第6章「教育、文化、社会活動」第65条で「国家は、国内全土の統一した教育制度を維持・発展させ、質の高い教育を受ける全国民の権利を保障する。また、国家は、全国民の福利に資する体育およびスポーツを重んじる。」（Royal Government of Cambodia、1993）と明示し、スポーツ権を保障している。
- 「政府は、全ての国民の幸福のために、体育教育とスポーツを尊重する」という事項を規定したカンボジア王国の憲法第65条、議会第3命令による戦略、2014-2019年国家戦略計画、政府のミレニアム発展目標に従い、カンボジア政府は2015年から2023年までの体育教育とスポーツの発展という国家政策を策定した。これは、体育教育とスポーツ部門の連携を高め、発展させることを目指したもの。

スポーツ産業に係る日本企業の進出状況

スポーツ産業に係る日本企業の進出状況

現地法人名	日本側の主な出資企業	資本金（米ドル）	出資比率（％）	従業員数	事業内容
Ajinomoto (Cambodia)	味の素	－	－	200	味の素(カンボジア)社は日本の味の素株式会社の子会社である。うま味調味料「味の素®」のブランドで包装・販売、「RosDee®」パウダーブランドの風味調味料の製造・販売、食品の輸入・流通を担う。
Dream Games Cambodia	ニラク・ジー・シー・ ホールディングス	2,275,000	－	－	ベトナムとカンボジアでゲームセンター、ボウリング場、キッズプレイグラウンドを備えたアミューズメント施設を運営する。

商談会・展示会開催情報

カンボジアで開催されるスポーツ関連の商談会・展示会

- 今後、カンボジアで開催予定のスポーツ関連の商談会・展示会は確認されなかった。

カンボジアで開催されるスポーツに近い分野での商談会・展示会

イベント名	開催地	主催者	開催頻度	主要コンテンツ
CTG - Cambodia Int'l Textile & Garment Industry Exhibition	プノンペン	Chan Chao International	毎年	繊維、アパレル、アクセサリ、繊維類、フィラメント、ヤーン、ファブリック
CIMIF - Cambodia Int'l Machinery Industry Fair	プノンペン	Chan Chao International	2年に1回	自動車関連部品等

国際競技大会開催情報

カンボジアで開催予定の国際競技大会

- 今後、カンボジアで開催予定の国際競技大会は確認されなかった。

2024年までにカンボジアで開催された国際競技大会

大会名	開催時期	主催者	参加国数	参加者総数※	摘要
2023 SEA Games	2023年	Southeast Asian Games Federation	11カ国	12,400	—

※各国の代表として大会に参加した選手やスタッフの総数

スポーツ基本計画概要

- スポーツに関する計画は教育に関する中期戦略の中で言及されており、身体活動や体育、スポーツの推進が重点プログラムの一つとして設定されている。

計画名称	Education Strategic Plan 2024-2028
策定年	2024年
計画概要	<p>身体活動と体育、スポーツの推進に向けて、以下の達成を目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 体育や身体活動、スポーツを通じた人々の体力増進と良好な健康状態の獲得 • 優秀な審判員とタレント性や高い技術、強い意欲、健康状態、良好な行動規範を兼ね揃えたアスリートが、国内外の競技大会において活躍すること
主要目標・施策	<p>【体育分野】</p> <p>目標 1：学校内外で体育とスポーツの場を広げる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 戦略 1：性別の公平性と平等性を踏まえた体育のカリキュラムや学習資料の作成 戦略 2：体育及びスポーツ教員に向けた教育プログラムの開発 戦略 3：安全で、利用が容易なスポーツインフラの整備 <p>目標 2：体育及びスポーツを通じて、人々の幸福を促進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 戦略 1：生涯スポーツのプログラム設計及び実施 戦略 2：定期的な体力検査の実施 <p>【スポーツ分野】</p> <p>目標 1：国内のスポーツチーム、ジュニアチーム、障がい者スポーツチームの競技力を向上させ、国際舞台で優れた成績を収めることを目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> 戦略 1：国内及び地域レベルでの効果的な科学的トレーニングプログラムの提供 戦略 2：国内及び国際スポーツ大会の開催と国際大会への参加 戦略 3：国際大会参加数を向上させるための国家計画とプログラムの設計及び実施 <p>目標 2：特に女性に対するスポーツ機関の管理能力とスポーツ技術職員の能力を開発する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 戦略 1：効果的な政策を実施するための法的・規制的枠組みとメカニズムの確立 戦略 2：体育及びスポーツでの管理職及び技術職員の能力開発 戦略 3：体育及びスポーツで利用するITシステムの開発

（出所） Ministry of Education, Youth and Sport「Education Strategic Plan 2024-2028」

SDGsへのコミットメント・取組

政府によるSDGsに関する取組

- SDGsの達成度合いを示すランキングでは、世界166カ国中104位 (2024年)。
- 特に課題が残る項目は「すべての人に健康と福祉を」、「質の高い教育をみんなに」、「ジェンダー平等を実現しよう」、「安全な水とトイレを世界中に」、「エネルギーをみんなに そしてクリーンに」、「働きがいも経済成長も」、「産業と技術革新の基盤をつくろう」、「海の豊かさを守ろう」、「陸の豊かさも守ろう」、「平和と公正をすべての人に」である。

SDGs17ゴールの達成状況



- (Green) : SDGsを達成している
- (Yellow) : 課題が残る
- (Orange) : 重要課題が残る
- (Red) : 主要課題が残る
- (Grey) : 情報入手不可
- ↑ (Green) : SDGs達成の見込み、または達成している
- ↗ (Yellow) : 穏やかに改善
- (Orange) : 停滞
- ↓ (Red) : 悪化
- (Grey) : 傾向把握不可

女性の活躍推進に関する取組

政府による「ジェンダー平等」に関する取組

- Sustainable Development Report 2024によると、「ジェンダー平等」の項目は、大きな課題が残っている状況である。
- 「ジェンダー平等」に係る要素のうち、下記の項目は達成している。
 - 女性の労働力参加率と男性の労働力参加率の比率
- 「ジェンダー平等」に係る要素のうち、下記の項目は達成できていない。
 - 近代的な手法による家族計画の要望が満たされる割合
 - 女性と男性の平均教育年数の比率
 - 国会における女性の議席数

「女性の活躍推進」×スポーツの事例

- ランニングイベント「Women Run 10k」の開催
 - 国際女性デーを記念し、毎年実施している。
 - 女性のスポーツ実施の奨励も目的としており、収益の一部はカンボジア女性起業家協会を通じて、女性の社会的活動の支援のために使用される。
 - カンボジアだけでなく、中国やアメリカ等様々な国籍の女性が参加している。

「健康・福祉」に関する取組

政府による「健康・福祉」に関する取組

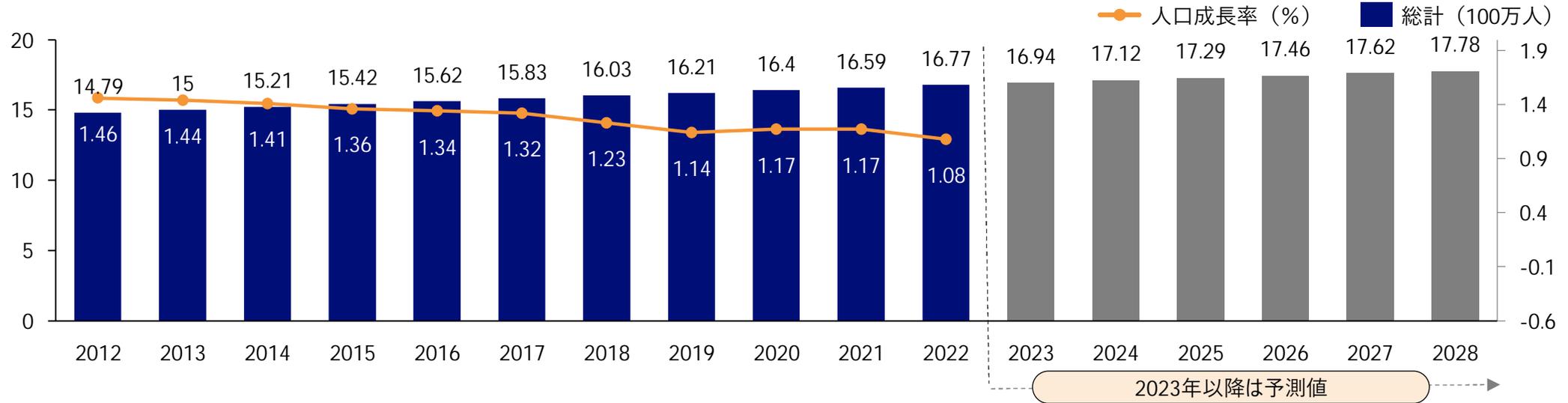
- Sustainable Development Report 2024によると、「健康・福祉」の項目は主要な課題が残っている状況である。
- 「健康・福祉」に係る要素のうち、下記の項目は達成している。
 - 5歳未満児死亡率
 - 非感染者1,000人当たりの新規HIV感染者数
 - 専門技能者の立ち会いの下での出産の割合
- 「健康・福祉」に係る要素のうち、下記の項目は達成できていない。
 - 妊産婦死亡率
 - 新生児死亡率
 - 10万人当たりの結核感染者数
 - 心血管疾患、癌、糖尿病、又は慢性の呼吸器系疾患の死亡率
 - 家庭内及び外部の大気汚染による死亡率
 - 道路交通事故による死亡率
 - 出生時平均余命
 - 女性1,000人当たりの青年期の出生率
 - WHOが推奨するワクチンを2回接種した乳児の生存率
 - ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ（UHC）のサービス普及率指数
 - 主観的幸福度

「健康・福祉」×スポーツの事例

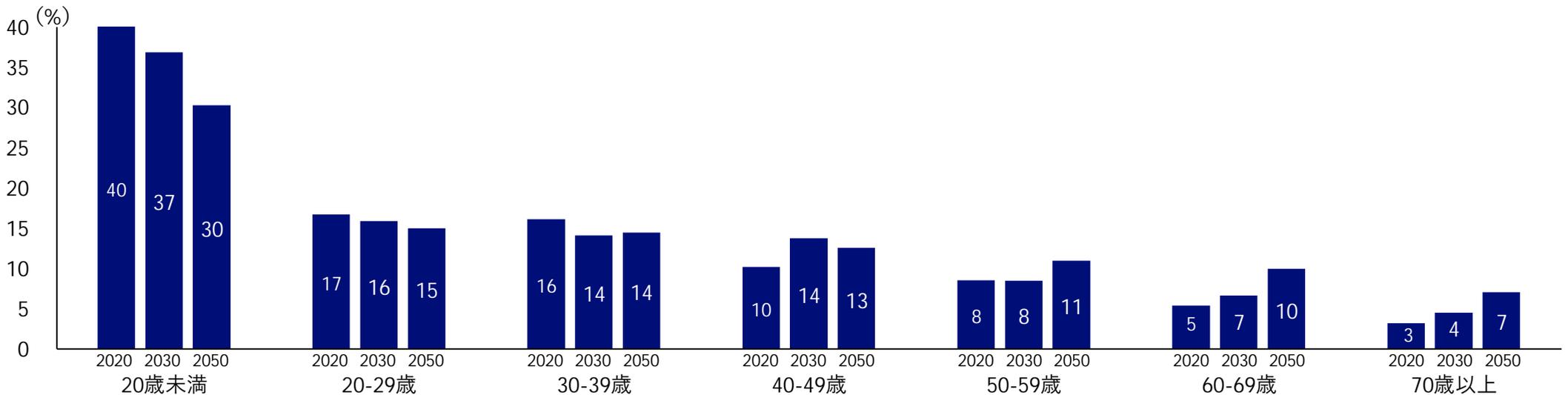
- 中学校体育科教育指導書作成と普及
 - 国際協力機構の支援の基、カンボジアの中学校教育における学習指導要領及び指導書に基づいた新しい体育科教育の普及を目的として実施。
 - 中学校体育科教育の中央機関の体制を確立すると共に、カンボジア国内共通の体育授業プログラムの確立を目的に、国際協力支援機構が指導書作成、活用のためのワークショップ、カンボジア教育省への提言を行った。

人口動態、および人口成長率・年齢別人口構成

人口動態、および人口成長率



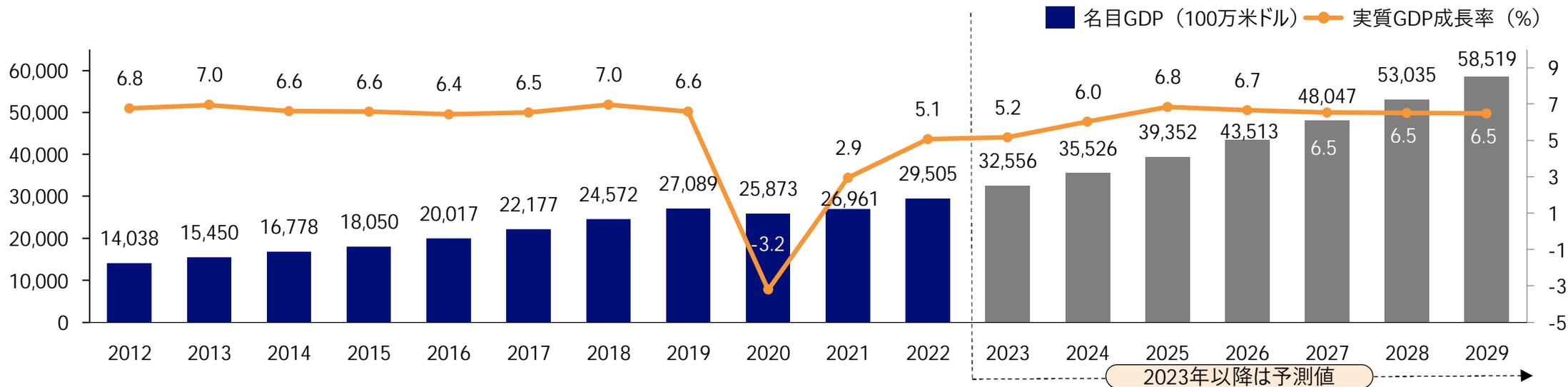
年齢別人口構成



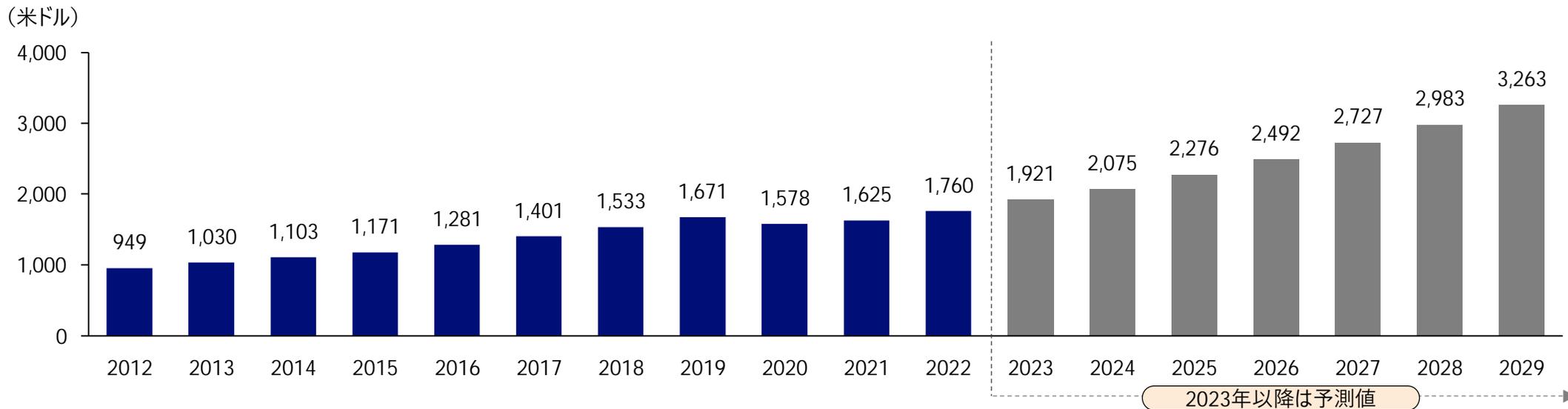
(出所) 世界銀行「United Nations projections」、国際連合「World Population Prospects」

GDP、GDP成長率、一人当たりGDP

名目GDPおよび実質GDP成長率



一人当たり名目GDP

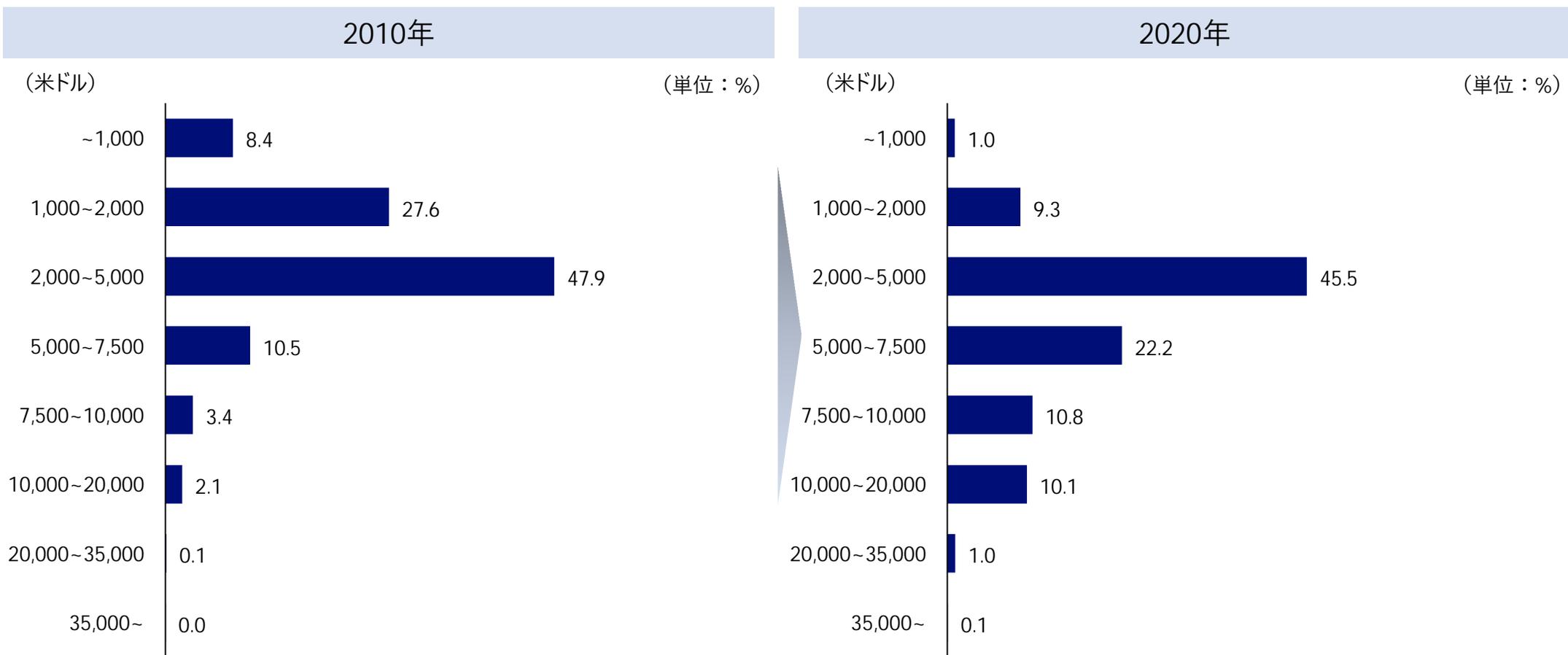


(出所) 国際通貨基金 (IMF) 「World Economic Outlook Database」

世帯所得分布

- 2010年には36%であった低所得層（世帯所得2,000米ドル以下）が、2020年には10.3%に低下している。
- 5,000米ドル以上の世帯所得層が増加している。

世帯所得分布



賃金

- カンボジアの製造業に従事する作業員に対する企業の年間実負担額は、3,643米ドル（約58万円）となっており、他ASEAN諸国（シンガポール：32,027米ドル、マレーシア：7,770米ドル）と比較して、低い水準である。

カンボジアの製造業と非製造業における賃金と前年比昇給率

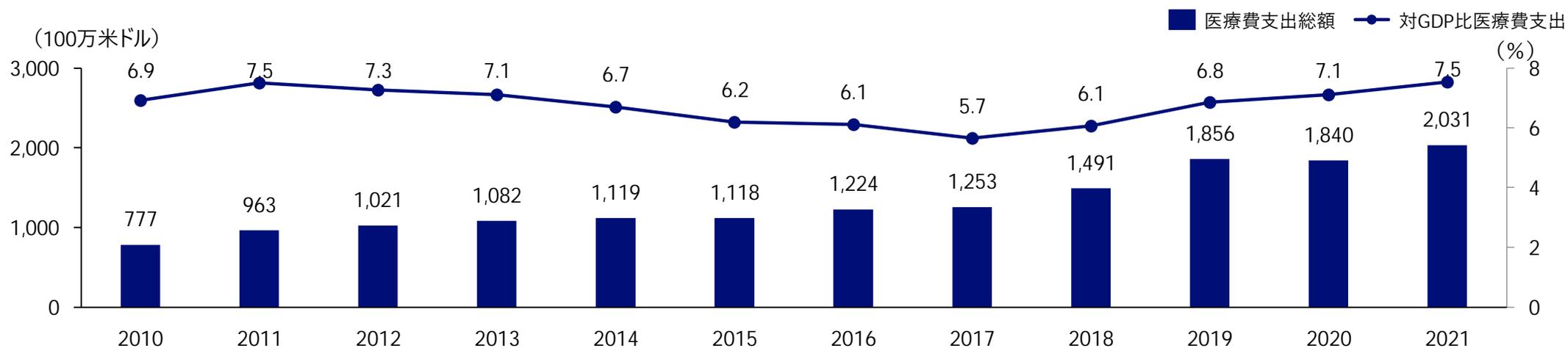
産業	ポジション	基本給・月給 (単位：米ドル)	年間実負担額 (単位：米ドル)	前年比昇給率 (%) (2022→2023)	前年比昇給率 (%) (2023→2024)
製造業	作業員	257	3,643	4.4%	4.6%
	エンジニア	501	7,163		
	マネージャー	1,086	15,577		
非製造業	スタッフ	582	8,345	5.6%	5.6%
	マネージャー	1,395	19,345		

- 基本給：諸手当を除いた給与、2023年8月時点。
 - 年間実負担額：一人あたり社員に対する負担総額(基本給、諸手当、社会保障、残業、賞与などの年間合計。退職金は除く。2023年(度)時点。)
 - 作業員：正規雇用の一般工職で実務経験3年程度の場合。ただし請負労働者および試用期間中の作業員は除く。
 - エンジニア：正規雇用の中堅技術者で専門学校もしくは大卒以上、かつ実務経験5年程度の場合。
 - マネージャー（製造業）：正規雇用の営業担当課長クラスで大卒以上、かつ実務経験10年程度の場合。
 - スタッフ：正規雇用の一般職で実務経験3年程度の場合。ただし派遣社員および試用期間中の社員は除く。
 - マネージャー（非製造業）：正規雇用の営業担当課長クラスで大卒以上、かつ実務経験10年程度の場合。
- ※各職種の自国・地域通貨建て賃金の平均値を、2023年8月の平均為替レート(各国・地域中央銀行発表)で米ドルに換算。

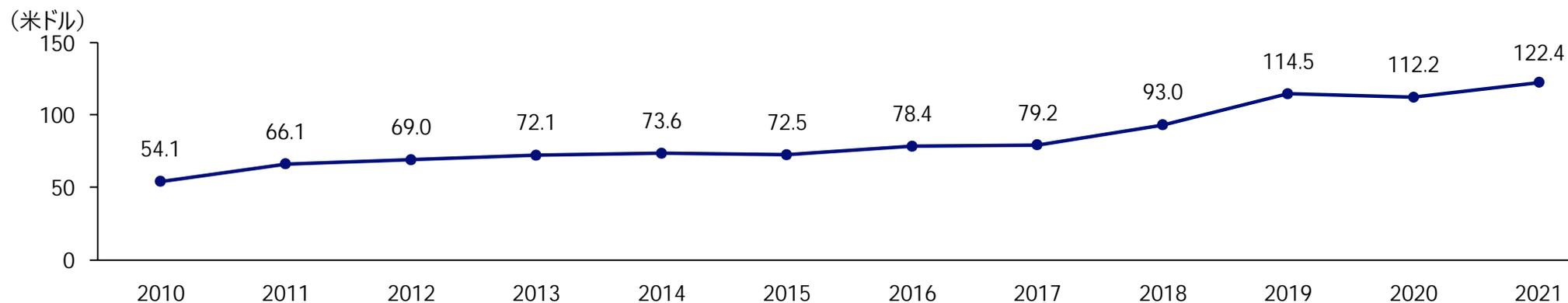
医療費支出

- 2021年の医療費支出は20 億米ドル（約3,160億円）で、対GDP比で7.5%である。
- 2021年の一人当たり医療費は122.4米ドル（約19,300円）であった。2010年以降上昇傾向。

医療費支出総額と対GDP比医療費支出



一人当たり医療費推移



(出所) 世界保健機関 (WHO) 「Global Health Expenditure Database」

疾病構造・死亡要因

- 主要疾患（死亡要因）の中で、運動習慣が発症・進行に関与するのは脳卒中、虚血性心疾患、糖尿病、高血圧性心疾患である。

疾病構造（死亡要因）の内訳（2021年）

順位	疾病名
1	Stroke（脳卒中）※
2	Ischemic heart disease（虚血性心疾患）※
3	Lower respiratory infect（下呼吸器感染症）
4	COVID-19（新型コロナウイルス感染症）
5	Cirrhosis liver（肝硬変）
6	Tuberculosis（結核）
7	COPD（慢性閉塞性肺疾患）
8	Neonatal disorders（新生児障害）
9	Diabetes（糖尿病）※
10	Hypertensive heart disease（高血圧性心疾患）※

※  運動習慣が発症・進行に関与するとされる疾患群（出所：厚生労働省「健康寿命を延ばそう SMART LIFE PROJECT」）

（出所）保健指標評価研究所（IHME）「Global Burden of Disease Study: GBD」

外資に関する規制

カテゴリ	概要
規制業種・ 禁止業種	<ul style="list-style-type: none">カンボジアはASEAN他国に見られるような広範な外資規制はなく、外国人投資について広く開放されている。一部の事業については、カンボジア人（株主または代表者）であることを条件としている。また、土地の所有はカンボジア人のみに認められていることから、土地の保有が前提となる事業は原則として行うことができない。外国人に対する規制がある業種は、診療所・病院、法律事務所、海外人材派遣業、警備事業等が含まれる。
出資比率	<ul style="list-style-type: none">カンボジアでは、前記の一部の規制業種を除き、商業省に登録の上、関連する業務上の許可を取得すれば、自由に投資活動を実施できる。
外国企業の 土地所有の可否	<ul style="list-style-type: none">投資家による土地保有は、カンボジア市民権を有する自然人かカンボジア企業に限って可能であるが、土地使用については、カンボジア政府との契約による土地使用（コンセッション）、15年以上50年を期限とする永借権に基づく長期賃借（最長50年ごとの更新可能）、更新可能な有期の短期賃借などが、外国企業にも認められている。
資本金に関する 規制	<ul style="list-style-type: none">カンボジアにおいては、外国人投資について、法令で制限されている事業を除き、100%出資が認められている。
その他規制	<ul style="list-style-type: none">特になし。